

Singing Bowl (おりん) で医療？！

信じられない話、欧米ではシンギングボウルを使った医療行為が行われているそう。一部の国では保険も効くとか。なんでも 400~420(430?)ヘルツで、シャープやフラットが強すぎないと良いのだそう。簡単な測定装置やスマホ用アプリも（ピンキリですが）あるみたい。

音と振動(バイブレーション)が体によいとかで、針やマッサージみたい。子供が お父さん達の肩を叩きながら唄っても、治療になるのかしらん？

展示会ご来場者様の中には、シリアルナンバー付きの日本製をお持ちの方も。ハンドル付きの吸盤をおりんの内底にくっつけ、体におりんをあてがってバチで鳴らすそう。

そういえば、こないだ、ネパールでアイデアマンな社長の会社を訪問。ショールームを物色していると、でっかい穴の開いたシンギングボウルを発見。「オイオイ…(苦笑)。何で穴が…？」と訊ねると「ソイツはヒザ用さ！」とのこと。

なんでも、膝頭を穴にあてがって叩くと体にいいんだとか。気のせいかもしれませんが、足が涼しい感じで『血流が良くなってるのカナ(?_?)』(※個人の感想です)

音が良いと感じたモノを少しだけ購入してきました。

車のような工業製品ですらアタリ・ハズレがある程で、手作り品も当然！

そんなわけで、手打ちだろうと鋳型だろうと、音はてんでバラバラ…。同じ音を製造するのは日本でも無理みたい。高級品は削って(?)微調整するそうです。ですんで、音叉なんか、大変すぎ、かつリスクも高すぎて仕入れられません。

職人さんの腕・体調・精神状態、材料の質・工房の設備、その日の気温・湿度、運 等々、色々なものに左右されるらしく、出来がよいかどうかの保証は無し。(名刀が完成する確率 並み?!)

もっとも、どんな音が気持ちよいかは個々人によってバラバラの為、『オススメを宜しく！』と言われてもムリ難題…。

さて、以前、ご紹介しましたように、水を張った でっかいおりんの中に立って、横からバチでおりを叩いて貰うやりかたも。こちらは一人だとおりを叩けないという欠点がありましたが、そこで作られたのが『超ロングのバチ』♪ 長さ約 70 cmのターバンヘッド(勝手に命名)！ これで一人でも楽しめますナ☆ 毎度、アイデア マンの社長さんが発明したかは知りませんが、E仕事してマス♪ 現在、一本だけ残ってます。ただ、背の高い方には もうちょっと長い方が良いかも…。そこで長さを約 80 cmで指定して、持ち手に茶色い木を使った今川焼きヘッド(勝手に命名☆)を他のメーカーに作らせたら、肝心のヘッドが小さすぎて…。コレって、棒だけでも売れないかしら…？

